

診断京都

No. 150

2025 SUMMER

<https://www.shindan-kyoto.com>



新緑 夏の龍安寺

- 02 地域企業と共に歩むための人的ネットワークと連携の力をつけよう！
- 03 診断士の私の仕事
- 04 京の起業家
- 06 ねえねえ教えて！支援機関さん！
- 07 支援事例紹介
- 08 研究会紹介
- 09 5RULES
- 10 協会活動報告
- 11 はんなり診断士
- 12 My favorite・京都検定

地域企業と共に歩むための人的ネットワークと連携の力をつけよう！

皆様、平素より京都府中小企業診断協会の活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。会長の坂田でございます。

さて、新年度がスタートしましたが、エネルギー価格や原材料の高騰、人手不足の深刻化、さらには円安の影響など、中小企業を取り巻く経営環境は依然として不安定かつ厳しい状況が続いております。価格転嫁が進まず、利益を圧迫される企業が多い一方で、新たな市場開拓や事業モデルの転換に挑む企業も増えてきました。今まさに、変化への対応力が問われている時代です。

こうした環境のなか、私たち中小企業診断士に求められる役割も、大きく変化しております。従来の診断・助言型支援にとどまらず、経営者と共に悩み、共に考え、変革を後押しする“伴走型支援”の重要性が一層高まっています。現場に寄り添い、実行可能な提言を行い、結果につなげていく粘り強さこそが、いま求められる診断士の姿であると強く感じております。

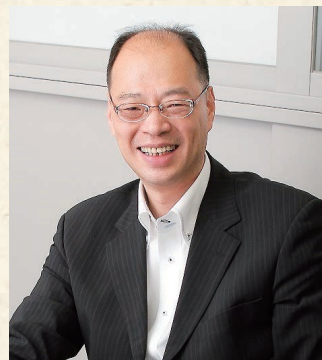
そのためには、私たち診断士自身も不断の努力を重ね、専門性を高めるとともに、多様な立場の方々との連携を意識していく必要があります。なかでも、中小企業支援においては「人的ネットワーク」の強さが極めて重要です。一人の診断士の力には限界がありますが、専門分野の異なる診断士同士の連携や、行政様、金融機関様、商工会議所・商工会様などとの協力により、複雑な経営課題にも組織的に対応できるようになります。

当協会では、関係機関との連携を一層深め、地域課題の解決に取り組んでまいります。研究会活動や、日々の支援活動を通じて得られる現場の知見や気づきを、診断士同士で共有し合うことは、私たち全体のスキル向上にも直結します。個々の経験を相互に学び合い、協力し合うことで、より多角的かつ実践的な支援が可能となります。相互に切磋琢磨できる関係性を築くことこそが、協会の大きな財産であり、地域企業の発展に貢献するための強固な基盤となります。

今後も当協会は、会員の皆様にとって有意義な学びと実践の機会を提供するとともに、地域と共に歩む診断士集団として、存在感を高めてまいります。診断士としての誇りと責任を胸に、京都府内企業の持続的な発展に貢献してまいります。

最後に、本会報が会員の皆様にとって有益な情報共有の場となり、さらなる交流と成長の契機となりますことを願い、皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

会長
坂田 岳史



経営と法務の交差点で支える専門家として ～専門を越えて、真に寄り添う支援を目指して～

大分県中津市出身。高校卒業後、大学進学を機に京都へ。大学卒業後、法科大学院に進学し、弁護士を目指す。2014年司法試験合格。1年間の司法修習を経て、2015年京都弁護士会登録。御所南法律事務所にて勤務弁護士として入所。2024年に共同経営者となり、現在に至る。企業支援としては、京都府よろず支援拠点コーディネーターを務めたあと、現在は京都府事業承継・引継ぎ支援センターサブマネージャーとして活動中。



1 得意分野：事業承継、新規事業伴走支援など

私は本業として弁護士業を営む中、中小企業診断士を取得しダブルライセンスで活動しています。そのため、事業活動の中でも法務的なケアの必要性が高い活動に対して、法務・経営両面からのサポートを行うことを得意として活動しています。

事業承継は、資産の承継や相続との関係など、法的課題への支援が必要となる場面が多くあります。他方で事業承継は「ただ権利だけ承継できればよい」という問題ではなく、「今後の事業の継続発展には何が必要か、その解決の土台となる経営の核心をしっかりと経営者から後継者に引き継ぐ」といった経営的課題も含まれます。私はこのような複雑な課題に対して、関係者間の調整や課題整理を丁寧に行いながら、円滑な承継を実現する支援を行っています。

また、新規事業の立ち上げにおいて、関係規制の対応や契約書や規約類の整備の相談を受けることがあります。このような相談者に対し、法的支援のみならず、事業計画の策定や事業の開始後モニタリングと改善などの伴走支援も行っています。

2 相談者にもっと深く持続的な支援を

私は弁護士として、これまで数多くの事業者の方々から法律相談を受けてきました。契約書のチェックや労務対応、債権回収など、日常的に生じる法的課題に対応するなかで、ある課題を感じるようになりました。それは、「企業に関する相談では、法律的な問題にのみ焦点が当たり、それ以外の部分に踏み込めない」という限界です。

個人のお客様からのご相談では、法律問題とともに、その背景にある家族

関係や生活上の課題にも目を向け、総合的に考えることが自然にできていました。しかし企業に関しては、「経営に関することは自分の専門外」という意識が強くはたらき、経営上の背景や戦略的な課題に触れることを避けてしまう傾向がありました。その結果、法的な側面にとどまった助言しかできず、事業全体を見据えた支援につなげることができないもどかしさを感じるようになっていきました。また、顧問契約を結んでいる企業で定期的に接触をもつような関係性であっても、やはり経営の方向性や成長戦略といった発展的な話題に踏み込む機会はほとんどありませんでした。このような経験を通じて、法律の専門家としての立場に加え、企業経営についても本質的な理解を深め、「より包括的な支援を行えるようになりたい」という思いが強まりました。

経営が専門外と思うならいっそ専門家になればいい。そう考えた私は、中小企業診断士の資格に興味をもち、取得を目指しました。診断士の勉強や活動を通じて、財務、マーケティング、人事、事業承継など、経営全体を俯瞰する視点を学ぶことができました。今後は、法務と経営の両面から企業を支える存在として、より深く、より継続的な支援を行っていきたいと考えています。

3 傾聴、責任感、そして誠実さと勇気

私が仕事をするうえで大切にしているのは、傾聴、責任感、そして誠実さと勇気です。相談を受ける際、目の前の問題の背後には、複雑な感情や事情が潜んでいることが少なくありません。まずは丁寧に話を聴き、その思いを引き出し、共感することで信頼関係を築くことを大切にしています。また、相談してくださる方は専門家とし

て私を頼ってくれており、その信頼に応える責任があると常に自覚しています。さらに、相談者にとって本当に必要な支援を行うには、ときに言いにくいことを伝えたり、聞きにくいことを尋ねたりする場面も避けられません。そうした場面では、自身のためらいを乗り越える勇気が求められます。誠実に向き合い、必要な一歩を踏み出すことで、より良い仕事ができると信じています。そしてこれは、弁護士としても診断士としても大事なことであると思っています。

4 法と経営の両輪で、より深く寄り添う存在へ

中小企業診断士の資格を取得したのは、法務と経営の両面から事業者を支援したいと考えたからです。現時点ではまだ、その理想を十分に実現できているとは言えません。経営支援のスキルは、実践を重ねてこそ深まるものだ日々感じています。今後は、さらに経験と知識を積み重ね、法務だけでなく経営の相談にも自然と頼っていただけるような、信頼される存在を目指していきたいと考えています。



コーヒー大好き。
キャンプにて

「法務」と「経営」、両者の視点を持ち合わせた支援は、まさに経営者にとって心強いパートナーだと感じました。単なる法律相談を超えた、真に伴走する姿勢は、企業に寄り添い続ける吉富さんならではの魅力です。これからも多くの経営者の支えとなる活躍を期待しています。次号は橋本勇人さんにご登場いただきます。（岡部 佳美）

京の起業家

45

精華町商工会様のご紹介で株式会社Halle Game Lab 代表取締役 坂井 冬樹様取材しました。けいはんな万博2025に出展されており、最先端の技術等についてもお話を伺いました。

株式会社Halle Game Lab
代表取締役 坂井 冬樹様



事業内容や現在の状況について教えてください

2022年に創業し、ゲームやアプリケーションなどの受託開発をしながら、ロボットやドローンなどを活用した研究や実証実験に取り組んでいます。アルバイトを雇用し、国等からの研究予算も獲得できるように体制を整えています。

人が楽しく過ごせる仕組みを作りたい

創業の経緯について教えてください

僕は「人がどうしたら楽しく過ごせるか」に関心をもちつづけてきました。大学院では人の気持ちに関わる仕組みをテーマに、スーパーコンピューターを使ったシミュレーション研究を行っていました。その延長線上で人を楽しませる仕組みはゲームの中にも多くあると考え、卒業後は「あんさんぶるスターズ!!」(あんスタ)というスマホゲームを制作する企業に就職しました。やがて、ゲームの中だけでなく、その技術を現実の社会にも応用し、人々の生活をより楽しく変える仕組みを作りたいと思い、独立しました。ロボットやドローンのように現実空間を動き回るも

のは、ゲームの仕組みと相性が良いと感じています。バーチャルな世界で楽しむだけではなく、リアルな世界も組み合わせると楽しい体験を作っていきたいと考えています。

脳波で操縦。「思った」だけでロボットを動かせる?!

現在実証実験に取り組まれているフルダイブ型ロボット操縦システム(FRS)について教えてください

脳波とVRを組み合わせて、「思った」だけでロボットを操縦することを目指すシステムです。VRゴーグルを装着することで、ロボットの視界をリアルに体験でき、あたかも自分がその場にいるかのような感覚になります。その状態で、自分が動こうとしたときに出る脳波を使って、ロボットを動かせるかどうかにも挑戦しています。

脳波のコントロールは難しく、現時点では「思った通りに動かす」というレベルには至っていません。しかし、精度を高めていくことで、将来的には体を動かせない人が、自分自身の介護をロボットで実現できると考えています。



アバタードローンを使った実証実験の様子



Galea. FRSで使用されるVRゴーグル



FRSアバターロボット



「失敗の脳波」をヒントに、次の一手を探る

開発で苦勞された点などがあれば教えてください

今も試行錯誤の連続で、日々苦勞しています。脳波の解析技術はある程度確立され、研究も進んでいます。しかし、厳密に正確な脳波を測ろうとすると、頭蓋骨に穴をあけて脳から直接信号を測定する必要があり、現実的ではありません。

現在は頭の表面にセンサーをつけて測定しているため、どうしても精度に限界があり、うまく操縦できるときとそうでないときがあります。そこで、ひとつのアプローチとして注目しているのが「失敗したとき」に出現する特有の脳波です。この脳波を活用して、「思った通りに動かせない」状態を自動で軌道修正できるような仕組みが作れないかと考えています。

また、脳波のパターンは人によって大きく異なるため、機械学習を使って個人ごとの特徴を学習させ、少しずつ精度を高めていくことも検討しています。

起業が広げた可能性とつながり

創業してよかったことについて教えてください

会社で働いていた頃は、成果が会社の実績として評価されることが多く、自分個人の実績としては見えにくい部分がありました。でも、起業すると会社の実績が自分の実績に直結し、ブランディングがしやすくなりました。実際にいろいろな人から声がかかるようになり、「人が楽しく過ごすための仕組みづくり」や「ゲームの力をどう社会課題の解決に活かすか」といった、自分が本当にやりたいテーマにも取り組みやすくなっています。

精華町商工会さんに期待されることを教えてください

フルダイブ型ロボット操縦システム（FRS）では、合同の新商品プレスリリース発表会を開いていただきました。一人ではなかなか広く情報発信することが難しいので、大きな支援となり、とても助かりました。

ここ精華町は、けいはんな学研都市の一部でもあり、研究をもとに新しい文化を創り出していくことが期待されています。僕自身も学研都市に住んでいる一人として、商工会さんと一緒に街を盛り上げていきたいと考えています。

ゲーム×研究 未来志向のまちづくりへ

今後の目標を教えてください

けいはんな学研都市は、大阪・関西万博の成果を引き継ぐ「ポスト万博シティ」として位置づけられています。弊社も「けいはんな万博」に出展し、アバターチャレンジ（遠隔操作ロボットを使った市民運動会）などのイベントに参加しました。

こうした万博の成果を一過性で終わらせず、街全体でロボットなどの実証実験を継続し、住民参加型で盛り上げていきたいと考えています。学研都市が研究の未来都市としてさらに発展していけば、僕自身が目指す「ゲームの技術で社会課題を解決する」という取り組みにもつながります。街の発展と研究の進化の2軸で、これからも活動を続けていきたいと考えています。（佐藤 智美）

精華町商工会 牧野太郎様より

株式会社Halle Game Lab様は、研究開発に取り組むだけでなく、地域や他の事業者との連携にも積極的に関わっておられ、精華町に新しい風を吹き込んでくれる存在だと感じております。私たち商工会としては、販路開拓や情報発信を通じて、株式会社Halle Game Lab様の挑戦を後押ししていきたいと考えています。

ベンチャー企業の育成は、今後の地域づくりにもつながる大切な取り組みと考えております。株式会社Halle Game Lab様への支援が、次世代の起業家や精華町の未来へと広がっていくことを信じて、一同がんばってまいります！

株式会社Halle Game Lab

〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台2丁目2番地 2ATRUcorn
URL : <https://www.hallegame.tech/>

ねえねえ おしえて！ 支援機関さん！

はい、私たちがお答えします。

京都府商工会連合会の

経営支援課課長 いしぐろ たろう 石黒 太郎
 経営支援課主任 みやはら まさひろ 宮原 全寛
 組織戦略課主事 かとう さな 加藤 紗奈 です。



石黒太郎様



加藤紗奈様



宮原全寛様

●京都府商工会連合会の概要

当会は、昭和35年に施行された商工会法に基づき、昭和37年までに府内34商工会が設立されたことを受けて、昭和38年5月に設立されました。現在では府内20商工会、11,505の会員事業所（令和6年4月1日現在）を抱える地域唯一の経済団体として、地域振興事業や経営改善普及事業を行っています。商工会は、地域ごとに特色ある支援を行い、「行きます・聞きます・提案します」という理念のもと、事業者との対話に基づく伴走支援を重視しています。この活動を通じて、事業者の「本質的課題」に対する対応を進め、地域の経済発展を支えています。

●京都府商工会連合会の主な活動内容

1. 専門家派遣事業の実施

当会は、地域の中小企業・小規模事業者が抱える様々な課題の解決を目指し、専門家派遣や講習会・個別相談会を実施しています。近年は、物価高騰や税制改正、労務問題など、事業者の経営環境に大きな影響を与える課題に対して、迅速に専門家を派遣しています。令和6年度は、事業者の課題解決を図るため、中小企業診断士をはじめとする専門家と連携し、300回を超えるサポートを実施しました。また、当会の独自事業である「エキスパートバンク事業」は、知的財産権・法務・労務など、幅広い経営課題に対応できることから、各商工会・商工会議所での有効な支援ツールとして活用されています。

2. 職員研修会の開催

商工会職員の資質向上を目的に、近年の経済動向や中小企業施策等についての理解を深めるための「基本能力研修会」と、事業者支援に必要な専門知識を習得するための「専門能力研修会」を実施しています。研修では、最新の経営課題や環境変化を反映したテーマを取り上げて、商工会職員のスキル向上を目指しています。最近では「定額減税」や「人手不足対策」など、事業者支援に不可欠な知識の習得と、実務での活用が期待されています。

これらの研修には、診断協会会員の中小企業診断士に数多くご登壇いただいています。机上の空論ではない、診断士個人の実体験に基づくケーススタディや支援事例のご紹介は、多くの商工会職員にとって貴重な支援技術習得の場となっています。

●今後の展望と中小企業診断士に期待すること

現在、事業者を取り巻く環境は非常に厳しく、経営改善が急務となっています。当会は、多種多様な課題に対応するために、「事業者様のニーズに沿う計画策定支援」や、「策定された計画に基づく販路開拓支援」等を重点的に実施してまいります。今後、これらの支援を進めるにあたり、中小企業診断士の方々との連携がますます重要になると考えています。診断士の皆様には、現場で事業者の方々の声に耳を傾け、課題解決へ向けた実践的な支援で貢献していただきたいと考えております。

京都府商工会連合会は、今後も中小企業診断士との連携・協力を強化し、地域経済の持続的発展に向けて取り組んでまいります！



中小企業診断士による研修の様子

(牧野 太郎)



京都府商工会連合会

〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番地 京都経済センター 3階311号室
 TEL : 075-205-5418 FAX : 075-343-0373 <https://kyoto-fsci.or.jp/>

支援事例紹介



市販POSレジデータの オーダーメイド分析

石田 英二

今回は、5年前にPOSレジ（スマレジ）の導入をお手伝いさせていただいた事業者で、最近改めて支援することになった案件の事例を紹介させていただきたい。

私は独立前までこの事業者と同業界の会社に所属していたことがきっかけとなり、取引先から紹介を受ける形でPOS導入支援を行った。その後POS導入をしたきりの状態（入れただけに近い）であったが、今年4月に改めて相談を受けた。

この事業者は東京と神奈川で、健康食品や化粧品など約800アイテムを取り扱っている。主力事業であるテレビ通販のほか、ショッピングセンターや百貨店に5店舗出店する比較的規模の大きい中小企業である。店舗では買い回り品や業界のトレンド商品で集客し、リピート顧客には接客を通じて付加価値の高い商品を販売する戦略をとっている。

今回の相談では、店舗の集客力を強化するために、POSデータを分析して新規顧客の購買傾向を把握したいということであった。

これまでは、POSのデフォルト管理機能を利用して、店舗の日報、月報データの取得、商品別売上、会員の購買履歴の分析、店舗の在庫管理を行っていた。しかし、新規顧客と会員顧客の区別をした分析ができないため、導入した商品が新規集客に有効となっているのかが分かりにくい仕様となっていた。

多業種向けに設計された市販のPOSによくあることではあるが、カスタマイズをした独自POSとは違い、自社に合う分析はなかなかできない、かゆいところには手が届きにくい設計であった。

外部システムと連携するAPI機能を活用すると解決するのだが、この事業者には追加的なランニングコス

トはかけたくない（かかるなら諦める）という制約があった。こういった制約は中小企業にはよくあるのではないだろうか。

API機能を活用するという可能性は示しながらも（将来的にはAPI活用したほうがはるかに業務効率は良い）、目に見える追加ランニングコストを必要とせず、支援される側もする側もできるだけ業務負荷の少ない方法を考えることとなった。

商品別の購入履歴データでは新規顧客による購入か否かは区別がつかないが、会員による購入か否かは区別できるため、非会員を新規顧客とみなし、抽出することにした。

設定した詳細内容は省くが、取引履歴データのCSVをあらかじめ決めた特定のフォルダ上にダウンロード、Excelファイルに設定した帳票シート上に店舗別・商品別非会員（新規）販売データ（数量順、売上順、粗利順）を表示させた。

これにより、比較的少ない作業量で、全店、あるいは店舗別の非会員が購入した商品の販売量が把握できるようになった。また、要望を聞きながら、必要な分析を行えるようにした。Excelが扱える人なら、支援できそうなレベルのものではあるが、先方の担当者は、自由に分析ができるようになったと喜んでいただけたようである。実際、データに基づき、自走的に店頭配置の改善を行うようになったことは大きな進歩であると感じている。今後の展望としてPOS活用による新商品開発の手法についての支援をしたいところであるが、それにはもう少し時間がかかりそうである。今は分析することが目的とならないよう見守っていきたい。

研究会紹介

若手診断士の会～若葉会～

若葉会は、京都府中小企業診断協会の中でも、若手診断士が診断スキルや業界知識を高め、活躍の場を広げることを目的とした研究会です。参加資格は年度開始時点（毎年6月1日）で45歳以下。30代を中心とした会員構成で、独立診断士や独立準備中の方も多く、多様な業界で活躍する診断士と交流できます。活動内容は、会員が持ち回りでテーマを設定・発表し、DXや経営戦略、業種別支援、法務、販路開拓など幅広い分野を研究。実務経験やノウハウの共有を通じて、発表者自身と参加者全体のスキルアップを目指

しています。新しい支援制度が出た際には勉強会も実施し、実践に活かせる知識を磨いています。今年度は他府県の理論政策更新研修への参加や意見交換も予定しており、企業内外を問わず若手診断士の成長と協会全体の活性化を目指しています。

【こんな方におすすめ】

若葉会は、「悩める若手診断士のための研究会」です！若手診断士特有の「経験不足」や「専門分野が無い・あるいは曖昧」といった課題解決を目指し研鑽しています。私たちと共に自分

の強みを見つけてみませんか？交流会として京都市内でランチも食べますので、是非一緒に京都府中小企業診断協会を盛り上げていきましょう！

（阪本 純子）



交流会のランチ

所 属 会 員 数	13名
活 動 日・時 間	毎月第3土曜日 (10時30分～12時30分)
設 立 年 月 日	2023年4月23日
代 表 者 名	谷口正人
幹事・事務局対応者名	白井皓大
担 当 理 事	石井規雄

経営革新支援研究会



橋本さんのご発表

本研究会では、中小企業診断士の実務発表に加え、外部の専門家、企業経営者、公的機関の担当者などを講師として招き、実践的かつ多角的なテーマ

を取り上げています。毎回のテーマはビジネスの現場に即した内容であり、診断士としての視野を広げる機会となっています。

終了後には参加者同士の交流会を開催し、世代や業種、立場を超えたネットワークづくりができるのも魅力のひとつです。本研究会の特徴は「オープン性」です。中小企業診断士であれば

所属や働き方に関係なく、誰でも参加可能であり、企業内診断士、独立診断士、様々な業種の方々が集い、学び合っています。テーマは旬な話題や多様なジャンルを意識して事務局で選定しています。

持ち込み企画も大歓迎！「発表したいテーマがある」「こんな話を聞いてみたい」という方は、ぜひ事務局までお気軽にご連絡ください。（林 勇作）

所 属 会 員 数	固定会員制ではなく、毎回約20名前後が参加
活 動 日・時 間	毎月第3水曜日（研究会19～20時、交流会20～22時）
代 表 者 名	白井皓大
メ ン バ ー	石井規雄、橋本勇人、竹村了悟
担 当 理 事 名	石井規雄



弁理士会との共催の会

■2025年の活動内容

開催日	講師名／所属	テーマ内容
6月18日	西垣 翔太 氏 (株式会社mottomo 代表取締役)	空き家がカフェになる瞬間ー山あいの小さな拠点から始めるローカルブランディング
5月21日	前田 展広 氏 (株式会社よい根 代表取締役)	地域企業の“社会的事業”のススメー新しい収益と採用を生み出すー
4月16日	大澤 真介 氏 (合同会社オンザウェイ 代表社員) 山口 莉乃 氏 (協会会員)	プログラムの世界から見た景色／成約率向上セミナー：販売営業の共通ポイント

※さらに古いものはこちらにあります。 <https://www.shindan-kyoto.com/category/innovation/>

診断士なら知っておくべき「経営者の頭の中」、紐解きます。

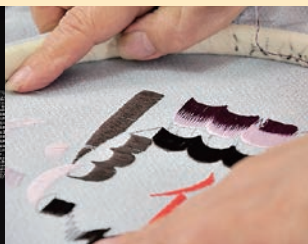
5 RULES

“ルールが経営を映し出す”

中小企業診断士が大事にすべき経営者は、「人」。
あえてビジネスモデルではなく、「その人のマイルール」
を紐解くことで、独自の経営マインドや生き方に触れる。

京都の“イマ”を創り出す経営者に聞きました。

「あなたのルールは何ですか？」



SOOOUL CEO Awu Cheng 様

台湾出身のクリエイター、企業家。南カリフォルニア大学（USC）で学び、京都の伝統工芸と巡り合う。2022年、伝統工芸とデジタル技術の融合を目指し「SOOOUL」の事業を開始。2025年、これまでの功績が認められMIT Media Labに参画。外国人企業活動促進事業（スタートアップビザ）を利用し、京都を拠点に活動展開中。

1 伝統工芸と最先端技術の融合を目指す

USCで学び、テクノロジー・アート・ストーリーテリングの融合を志すようになる。日本の伝統工芸との出会いから、スタートアップ「SOOOUL」を起業。「SOOOUL」のプロジェクト“Hako”では、伝統工芸品にAIエージェントを組み込むことによって、伝統工芸品の製作過程や背景をデジタル技術で保存・発展させるプラットフォームを構築。日本で約50人の職人とのネットワークを築き、伝統工芸と最先端技術の融合を目指す。

2 “ほんまもん” に技術で貢献する

本場仕込みのテクノロジーと京都の伝統工芸が互いに触発しあった。RFタグとブロックチェーン技術を活用し、“ほんまもん”を“ほんまもん”として担保する仕組み、付加価値がついたらその履歴も残せる仕組みをプラットフォーム化した。ビンテージ古着や陶器を皮切りに、そのCraftに応じたプラットフォームを作りこんでいる。価値あるものを大事にしたい、培ったテクノロジーで貢献したい、新たな時代の“目利き”がここにある。

3 所有やアップサイクルのストーリーを紡いでいく

日本には、陶器や着物などを丁寧に修繕したり、別のモノにアップサイクルしたりして、代々使い続ける風習がある。“Hako”では、ビンテージデニムに職人が刺繍などの装飾を施すことで価値を高めるだけでなく、デジタル技術を通じて付加価値の履歴を可視化し、売買されると関わった職人たちにも売上が一部還元される仕組みを展開している。伝統工芸に見られる“箱書き”※の伝統に学び、デジタル技術を通じモノの所有やアップサイクルのストーリーを紡いでいく。

4 芸者は歩くCraftmanである

関わった人がそれぞれの貢献に応じた冥加を受け取れるようにしたい。“Hako”の根底にある哲学である。芸舞妓はいただいた花代を、お茶屋、髪結いさん、お床山さん、着物や花かんざしといった持ち物に費やすことで、エコシステム全体を潤している。京都から受けた触発の一つである。きちんとした手仕事に正当に評価され、持ち主が変わるたびに貢献に応じた冥加を受け取れる、透明性のある公平な仕組みが“Hako”である。

※工芸品を納める木箱に作品名などを墨書きしたもので、真贋の証明や来歴の記録として重要な役割を果たす。

5 すべてのモノをCraftにする“Everything Crafted”

伝統工芸品から始め、対象をアンティークやビンテージに広げたが、究極の目標はEverything Craftedだ。日常にあふれる大量生産品、たとえばPETボトルですら、ひとたび人の手が加えられれば、それは世界で唯一無二のCraftとなる。近い将来、大半の経済価値がWeb上のデジタル信号で生み出される時代においては、人の手が加えられた質量物に価値が宿り、それが流通する世界が訪れる。デジタルとAIが支配する未来において、人間らしくあり続けるためのプラットフォームを提供することが究極の目標である。

（記者：内藤 朗人・池田 瞬介・松延 健吾）

一般社団法人京都府中小企業診断協会の第13回通常総会が、令和7年5月31日に京都ブライトンホテルにて開催されました。

総会では坂田会長が議長を務め、第1号議案の令和6年度事業報告と第2号議案の収支決算書が付議されま

した。事業報告では総務関連、研修関連、対外事業の内容や、正会員数が266名に増えたことが報告されました。第3号議案の令和7年度事業計画および第4号議案の令和7年度収支予算はいずれも原案どおり可決承認されました。

17時からの懇親会では、15名の来賓とともに会員同士の交流が終始活発に行われました。新入会員代表挨拶や節目の年を迎える会員の紹介もあり、盛況のうちに終了しました。

(杉村 麻記子)



総会



懇親会



懇親会

会員数とその異動（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

	期 首	期 中 増 加	期 中 減 少	期 末
正 会 員	244人	38人	16人	266人

種 別	増 加				減 少		
正 会 員	入 会	荒瀬 智章 泉 香奈 上坂 研祐 上杉 嘉邦 大澤 真介 岡野 祐三 尾崎 智子 加賀谷 知治 桂 悠二 加藤 聖二 岸本 健 久保田 瑞穂	佐道 貴治 關 諭 高橋 幸司 武田 明宏 竹田 有輝子 田中 慎二郎 寺田 秀崇 長野 俊弥 鍋岡 崇 原 大輔 姫野 修二 藤井 秀樹	藤本 将平 堀井 邦稔 堀之内 克彦 本田 隼人 舞鶴 修一 牧野 太郎 松尾 孝治 百田 義弘 森田 祐司 湯澤 真 吉田 英治 小計 35人	退 会	天沼 秀人 井上 毅 梅津 政記 大沼 玲哉 大山 マリ子 國原 雄太 佐古井 宏 神宮司 大心	高千穂 利道 立田 順司 中路 悦雄 西脇 大輔 宮下 雅樹 村橋 大介 吉岡 千慶 小計 15人
		兼丸 拓哉	安本 知治	松延 健吾 小計 3人		相田 幸一	小計 1人
	転 入				転 出		
計		38人				16人	

はんなり診断士



しんざ ひろゆき
新佐 紘之
新佐経営支援事務所・代表

はじめまして。2017年9月、中小企業診断士に登録しました新佐（しんざ）と申します。大学卒業までの22年間で京都で過ごし、就職を機に2001年に東京へ。現在は出版社で本の編集をする傍ら、診断士として活動しています。経営者からお話を伺い、情報を整理しながらまとめ上げていくプロセスは、著者に伴走しながら本を作る作業にも通じるところがあり、とてもやりがいを感じています。

京都協会では「診断京都」の編集委員や国際老舗研究会に参加しております。今後も色々な研究会で勉強させていただきたいと思います。ご指導ご鞭撻のほど、お願い申し上げます。



たにぐち ひろと
谷口 宏人
株式会社経営サポートみやこ・代表取締役

こんにちは。2022年に診断士登録しました谷口宏人と申します。30年程務めた前職の製造業では、設計・機械組立・加工・品質保証・調達などに関わり、海外調達でアジア各国を飛び回りました。業務上、中小企業の方と関わる事が多く、いつしかその人達を応援したいという気持ちが強くなり、中小企業診断士を志しました。このたび、コンサルティング活動に専念すべく自社を立ち上げました。今までの経験を生かし、①5S活動、外国人材の採用・育成、現場コスト低減、②海外調達を主とした金属部品製造会社のご紹介、③補助金獲得支援などを中心に、中小企業の皆様に貢献していきます。今後とも、よろしくお願い致します。



ながはら ひでとも
永原 英知
パナソニック株式会社

パナソニックに新卒で入社以来、約30年間、基礎研究から商品の量産立ち上げまで、技術分野を一貫して歩んできました。複数のプロジェクトリーダーを務めるなかで、人と人、技術、経営を「繋ぐ」ことで課題解決に貢献することに深いやりがいを見出すようになりました。2022年5月に中小企業診断士登録、2023年5月からは京都協会の皆様にお世話になっております。京都には神奈川から移り住んで24年。休日は30年来のテニスで汗を流し（試合の緊張感が懐かしい!）、一昨年にはウクレレを始めてその音色に癒されています。皆様と共に学び、京都の企業の成長を力強くサポートできる診断士を目指します。どうぞよろしくお願いいたします。



ほりい くにとし
堀井 邦稔

皆様初めまして、堀井邦稔と申します。2024年4月に診断士登録し、2025年2月より京都協会に入会いたしました。IT業界でキャリアを積み、数年前からコンサル業界で働いております。京都協会に入会した理由の一つとして伝統産業への関心がございます。実家が丹後ちりめんの製造業を営み親族にも和装関係者が多く、幼少期から着物が身近な存在でもありました。趣味では囲碁を30年以上続けており腕には多少自信があります。ここ数年は普及活動にも携わっておりますので、興味をお持ちの方は是非お声掛け下さい！協会内の研究会活動では様々なバックグラウンドをお持ちの方との出会いに刺激を受けております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



まきの たろう
牧野 太郎
精華町商工会

診断協会の皆様、はじめまして。牧野太郎と申します。福井県に生まれ育ち、2012年より京都府に移住、現在は精華町商工会に勤務しております。小規模事業者の皆様を対象とした経営支援業務に従事しており、2024年に中小企業診断士として登録いたしました。経営支援では常に笑顔をもって丁寧な対応を心がけており、事業者様が安心して相談できる診断士になれたらエエな～と思っています。また“ITに強い診断士”を目標に、IT分野における支援力の向上を目指して、kintoneを活用したアプリ開発等に日々取り組んでおります。未だ駆け出しの身ではございますが、今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



よしだ えいじ
吉田 英治
Realize Partner

登録養成機関日本生産性本部での半年間の研修と診断実習を経て、2024年11月中小企業診断士として登録、入会いたしました。同志社大学を卒業後、準大手SIerにて主に営業部門、途中3年間は新規事業開発部門に所属し、転勤で関西と東京を2往復しました。定年を目前にして、地域に貢献できる仕事がしたいと考え、この道を選びました。ITコーディネータ資格も取得し、IT・DX関連を専門としていますが、中小企業においてはIT導入以前に対処すべき経営課題も数多く存在すると感じております。課題の本質を的確に捉え、ITに限らず多角的な視点から目標実現を支援するパートナーとなれるよう日々研鑽を積んでまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

My favorite

診断士のお気に入り

コーヒーメーカー (マグニフィカS)

上杉 龍吾

今回ご紹介するのは「デロンギのコーヒーメーカー」です。正直なところ、これまでコーヒーにこだわりなんて全然ありませんでした。豆の違いもよくわからなかったし、マシンで味が大きく変わるとも思っていませんでした。ところが最近デロンギのコーヒーメーカーを買ってから、その考えが変わりました。

デロンギのコーヒーメーカーはラインナップが豊富で、なかには30万円くらいする高級モデルもあります。私が買ったのは「マグニフィカS」という

手頃なモデルで、Amazonのセール価格で6万円くらいでした。値段は、メニューの数やカスタマイズの細かさによって違うよ



うで、ドリップコーヒーを楽しむだけならこれで十分だと思います。ボタンひとつでカフェのようなコーヒーができてあがります。毎日のお手入れも簡単で、豆の挽き方や量を自分好みに調整することもできます。「今日はどの豆を試そうかな」と考えることも楽しみのひとつになりました。私はコクがあって苦味のしっかりした深入りの豆が好きですが、いろいろな豆を試すのがちょっとした趣味になっています。粉末にも対応はしていますが、やはり豆から挽いて淹れるのが美味しいです。まさか自分がここまでコーヒーにハマるとは思っていませんでした。デロンギのおかげで少しだけ「違いがわかる男」になれた気がしています。

そして今、あのCMのメロディーが頭の中で流れています。♪ダバダ〜ダバダ〜ア〜♪

次回は、高橋好美さんです。よろしくお願いします。

京都の診断士だったら
知っておきたい基礎問題にチャレンジ!!

京都
検定

京都・観光文化検定試験
京都商工会議所

本事業は
京都検定を応援しています

Q 龍安寺について誤っているものを選びなさい。

(『第1回京都検定 問題と解説』(京都新聞出版センター刊)
3級34問より一部抜粋)

- A
- (ア) 龍安寺は、鎌倉時代に創建された寺院である
 - (イ) 有名な枯山水庭園は、「虎の子渡し」とも称されている
 - (ウ) 龍安寺の山門をくぐると、「鏡容池」と称される広い池がある
 - (エ) 水戸光圀が寄進したと伝えられる「吾唯知足」の手水鉢がある

表紙の写真と連動した問題をセレクトしてお届けします。

編集後記

夏です。これを書いている頃には、5月末の総会資料が手元にある時期です。会員数をみていると266名の会員が所属している(令和7年3月31日現在)ということで、多くの方にこの「診断京都」がお手元に届いていると思うと嬉しく思います。会員以外にも置いてあるところもありますので、ぜひ探してみてください!今年度も多くの出会いがあることを楽しみにしています!いつかあなたの元に取材にいかかも!? (松田)

(ア) 解説: 細川勝元が妙心寺の義天玄承を招いて宝徳二年(1450)に創建。玄承の師である日峰宗舜を勧誘開山とした。有名な枯山水の石庭は、庭年代などは不明。鏡容池を含む庭園全体は国の名勝に指定されている。

国の史跡および特別名勝。虎の子渡し、五智五仏、七五三の石組、心字の象形などと呼ばれ、白砂だけを敷き詰めて15個の石を配置する。作者・作